

古事類苑

歲時部 一

歲時總載上

歲ハ分チテ十二月ト爲シ、月ハ分チテ三十日ト爲ス、歲ニ閏年アリ、月ニ大盡小盡アリ、閏年ハ十二月ノ外ニ、更ニ一月ノ餘アルヲ謂フ、三年ニ一閏、五年ニ再閏ヲ立テ、十九年ニシテ七閏ニ及ベバ、復タ餘分ナシ、之ヲ一章ト云ヘリ、大盡ハ月ノ三十箇日ニテ盡クルヲ謂セ、小盡ハ二十九箇日ニテ盡クルヲ謂フ、而シテ其第一日ヲ朔ト爲シ、十五日ヲ望ト爲シ、月盡ヲ晦ト爲ス、朔ト望トハ夙ニ之ヲ祝セシガ、徳川氏ノ始メ、二十八日ヲ加ヘテ三日ト稱シ、況ク之ヲ祝スルニ至レリ、

四時ハ又四季ト云フ、一年十二箇月ヲ四分シ、各三箇月ヲ以テ一季ト爲シ、温暑冷寒ノ序ニ循ヒテ、之ヲ春夏秋冬ニ分ツナリ、又別ニ一歲三百六十五日有奇ヲ分チテ二十四氣トス、即チ立春ヨリ大寒ニ至ルモノニシテ、立春ヲ以テ正月ノ節ト爲シ、雨水ヲ以テ正月ノ中ト爲シ、冬至ヲ以テ十一月ノ中ト爲シ、大寒ヲ以テ十二月ノ中トスルガ如シ、而シテ冬至若シ十一月朔日ニ當ルトキハ、朔旦冬至ト稱シテ、朝廷ニ於テ群臣之ヲ賀ス、又七十二候アリ、五日ニ一候、十五日ニ三候アリ、之ヲ一氣トス、即チ一月三十日六候、二氣ニシテ、一歲十二月二十四氣七十二候ナリ、又社日、八十八夜、梅雨等ノ雜節アリ、亦二十四氣ヨリ出ヅルモノナリ、二十四氣ニ關セザルモノニ、別ニ節日アリ、舊クハ正月一日、七日、十六日、三月三日、五月五日、七